

枚方市立中央図書館主催

作品募集!



枚方市 ひこぼしくん

第13回

中学生の

調べ学習コンクール

申込受付

9月24日(火)~10月11日(金)

作品提出メ切

10月17日(木)

テーマは自由

日ごろから疑問に思ったこと、興味があることについて、学校図書館や市立図書館の本を調べてわかったことを発表してみませんか。

- 申し込み後、図書館からお渡しする台紙に作品を貼付し、メ切日までに提出して下さい。
- 応募は1点まで(グループでの応募との重複は可能です。) 応募作品は、中央図書館 美杉会グループエントランスホールで展示し、後日、各賞の表彰を行います。副賞として図書カードを進呈。
- 作品の形式や申込方法、作品展示の期間など詳しくは実施要項をご覧ください。



← ホームページはこちら

問い合わせ 枚方市立中央図書館
子ども・学校図書館支援 係

でんわ 050-7105-8103
FAX 072-851-0962

第13回「中学生の調べ学習コンクール」実施要項

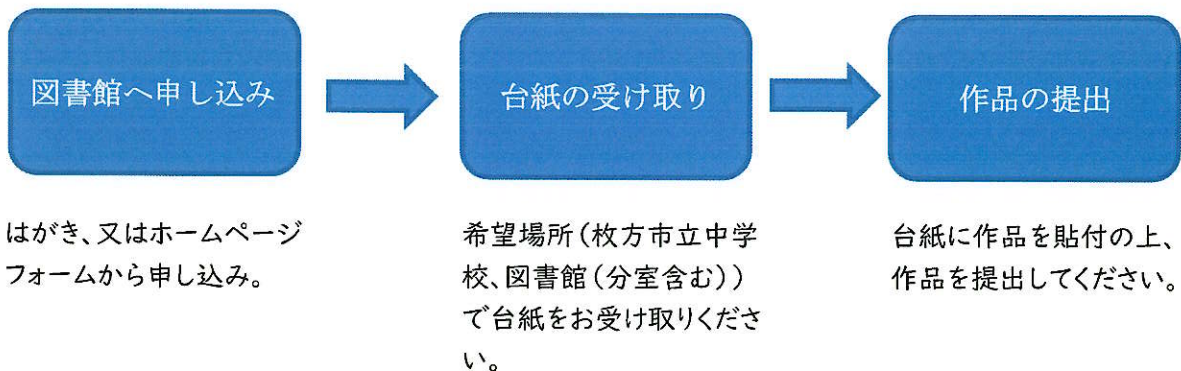
日頃、疑問に思ったこと、興味があることなどについて、学校図書館や市立図書館の本を使って調べてわかったことを発表してみませんか。

授業や宿題として作成した作品の応募も歓迎します。

1. 作品内容

- ① テーマ 自由
- ② 作成者 枚方市内在住、在学の中学生（個人または6人までのグループ）
- ③ 応募点数 1点まで（個人で応募した人が、グループに参加して応募することは可能です。）
- ④ 形式
 - ア. 用紙のサイズは、B4あるいはA3サイズの内紙1枚、またはA4サイズの内紙2枚まで。
「4.台紙受取り」で説明している台紙に作品を貼ってください。
 - イ. 用紙の向きは縦、横いずれも可です。
 - ウ. 作成にあたり、ワード・Excel等パソコンソフトの使用は可能です。文字についても手書きである必要はありません。
 - エ. 別用紙に印刷したものを、貼付することは可能です。
 - オ. 作品・台紙の両方の裏に「学校、学年、組、氏名」を必ず記入してください。
作品の表に学校、学年、組、名前等が書かれている場合は、マスキングテープ等で見えないようにしてください。
 - カ. 作品は保護シートに挿入した状態で展示を行います。作品にしかけを施すことは可能ですが、しかけのためにシートの切り抜き等の対応は行いません。
- ⑤ 注意点
 - ア. 作品にはタイトル、まとめ、参考文献一覧を記入してください。
 - イ. 作品を説明するのに必要な貼付は引用の範囲で可とします。
 - ウ. 引用は出典を明記のうえ、著作者の権利を侵害しないよう注意してください。
 - エ. 参考文献については、学校図書館や市立図書館、関連機関（博物館など）等の資料を活用し、参考にした資料名、情報源等の出典を明記してください。
 - オ. 作品の説明が外国語の場合は、別途、日本語で解題をつけてください。

2. 応募までの流れ



3. 申し込み

募集期間：令和6年9月24日（火）～10月11日（金）

① 個人

下記、AかBいずれかで、応募してください。

A: 中央図書館のホームページに掲載の申込フォームより応募ください。

B: はがきに代表者の氏名、電話番号、メールアドレス、グループの場合は代表者以外の氏名、学校名、学年、応募タイトル、台紙受取り、及び作品返却希望場所（枚方市立中学校、図書館（分室））を記入して送付してください。



中央図書館URL

<https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000050351.html>

申込フォームは募集開始日より中央図書館のホームページに掲載します。

はがき送付先

〒573-1159 枚方市車塚2-1-1

枚方市立中央図書館 子ども・学校図書館支援係

② 学校

C: 中央図書館のホームページに掲載の学校専用の申込フォームを使って応募してください。中学校で取りまとめを行う場合、30点まで。厳守願います。

4. 台紙受取り

申込時に希望した枚方市立中学校、図書館（分室を含む）にて、中央図書館より配付の台紙を受け取ってください。

5. 作品の提出

台紙に作品を貼って中央図書館もしくは市内図書館分館・分室に提出してください。

6. 提出メ切

令和6年10月17日（木）

7. 展示

① 展示期間: 令和6年11月16日（土）～令和6年12月12日（木）

② 展示会場: 枚方市立中央図書館 美杉会グループエントランスホール



8. 表彰

最優秀賞（教育長賞）、優秀賞、その他各賞

最優秀賞をはじめ、各賞受賞者には中央図書館より連絡します。

審査基準

- 1). 学校図書館や市立図書館、関連機関（博物館など）等の資料・情報を活用しているか。
 - 2). 複数の資料を活用しているか。
 - 3). 使用した資料・情報の出典が明示されているか。
 - 4). テーマに沿った資料・情報収集ができていないか。
 - 5). 使用した資料・情報を読み取り、自分の考えをまとめているか。
 - 6). 調べる理由、目的、方法、過程、結果などがきちんと示されているか。
 - 7). まとめ方に工夫がされているか。
 - 8). 調べる過程や作品に、主体的に学ぶ喜びが表現されているか。
- 以上の基準を基に、総合的に判断して審査を行う。

9. 副賞

各賞、受賞者、グループに対し図書カード

グループにつきましては、人数にかかわらず、個人の応募と同額となります。

10. 表彰式

日時：令和6年12月15日(日) 午前11時から1時間程度

受賞作品の作成者・グループには、3分程度で、作品について、動機や調べる過程・結果分かったこと、気づいたことなどを発表していただきます。

11. 作品の返却について

表彰式終了後、学校等を通じ作品をお返しします。

12. 出典の記載方法

① 本を参考にした場合、

書名・著者名・出版社・出版年を書く。

例、『〇〇〇〇』枚方太郎著 △△社 2019年

② Webを参考にした場合、

Webページ名・Webページを製作した人・団体名・更新(閲覧)日・URLを書く。

例、『枚方市ホームページ』枚方市 更新日 2021年〇月〇日

<http://www.city.hirakata.osaka.jp>

③ 新聞を参考にした場合、

新聞紙名・出版年月を書く。

例、『〇〇新聞』2021年4月1日 夕刊

参考にした文献名は必ず
記載してください。



出典の書名、著者名等の表示順について、学校等の指定があれば、それに従ってください。

13. その他

① 参考文献の活用には、著作権に留意し、法律の範囲内での使用をお願いします。特に、インターネットからの引用やコピーについては、製作者の意図や禁止事項を必ず確認し、著作権・肖像権等の侵害にならないよう注意をお願いします。

② 受賞作品については学校名、生徒名の公表をする場合がありますのでご了承ください。受賞作品は図書館のホームページ掲載のほか、当コンクールの趣旨に沿った使用をすることがあります。



わからないことがあれば、
お気軽に学校司書や
図書館員に聞いてくださいね。



お問い合わせ：枚方市立中央図書館
子ども・学校図書館支援係
電話：050-7105-8103
FAX：851-0962

わかるって楽しい!

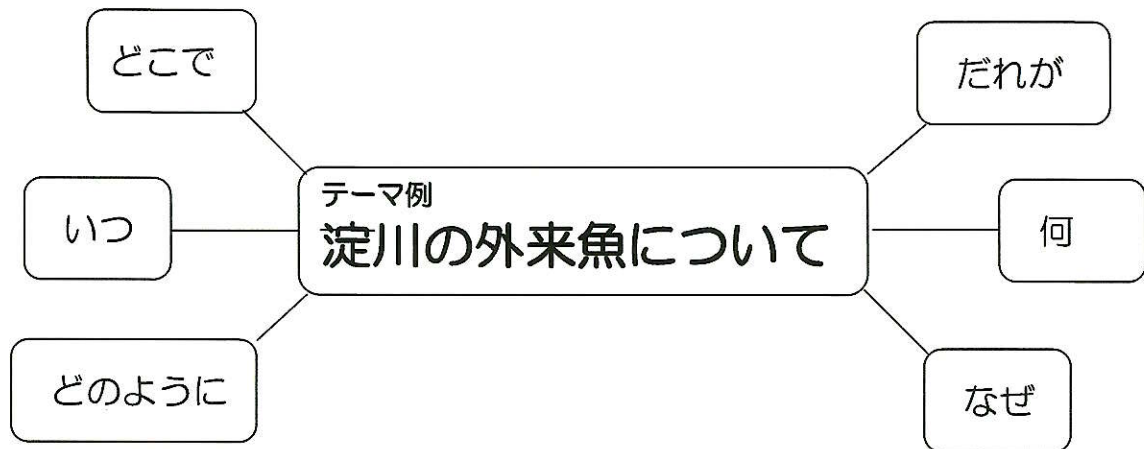
『調べ学習のコツ!』

～中学生の調べ学習コンクール・ガイド2024版～



1. 調べたいテーマを考えてみよう!

* ジャンルから、自分の興味のあること、疑問や気になること、わからないことを思いうかべ、書き出してみよう。思い浮かべたテーマで下のようなイメージマップを作ると、アイデアが浮かびやすくなるよ。

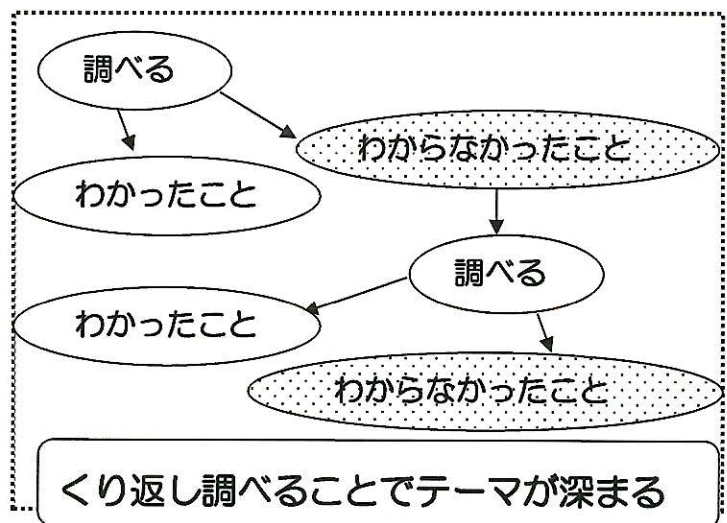


<イメージマップ>

テーマは調べる途中で変わってもいいよ!

* 調べていくと、最初に考えていたことと違うテーマにたどりつくこともあります。そのときは、テーマを変えてもかまいません。

調べることで、テーマが深まり、自分だけのテーマが見つかります。



2.調べ方を考えよう！

<調べ方の方法や注意点>

調べ方	具体的な方法	気をつけること
新聞や本などを使って調べる	<ul style="list-style-type: none"> * 学校図書館、公共図書館（近くの枚方市立図書館など）で調べる。 * 百科事典、図鑑、年鑑、白書、地図、年表、統計など、調べ物に役立つ資料がある。 * 本の目次や索引(巻末)から見つける。 	<p><情報が信頼できるものか確認しよう！></p> <ul style="list-style-type: none"> * 本の出版年を見て、情報が古くないかを確認する。（出版年は本の最後（奥付）に載っている。） * 調べたいこと、そのものズバリの本がなくてもあきらめないで。逆に、1冊の本だけの情報で調べ物を終わらないで、<u>2冊以上の本を調べてみよう。</u>
インターネットで調べる	<ul style="list-style-type: none"> * 調べたい言葉（キーワード）で検索すると、いろいろな情報が探せる。 * 複数のキーワードを調べるときは、スペースを空けながら検索欄にキーワードを入力すると検索できる。 	<p><情報が信頼できるものか確認しよう！></p> <ul style="list-style-type: none"> * ホームページの発信元・発信時期・更新年月日、アクセス年月日を確認。（誰がいつ発信しているかをよく見る。） ⇒古い情報のページが残っていることがあるので気をつける。 * 信頼性が高いホームページを見る ⇒市町村・公共の団体のホームページなど。 * <u>2つ以上のホームページを確認したり、本などで調べたりして、比べてみる。</u>
人に聞く取材する	<ul style="list-style-type: none"> * まわりの大人（家族、地域の人）や、友だちに聞く。 * 図書館、博物館、資料館などで専門の人に聞く。 * 電話・手紙・ファックス、メールなどで尋ねる方法もある。 	<ul style="list-style-type: none"> * 初めに、本やインターネットでできるだけ多くの情報を集めて下調べをして、「どこまでわかったか」「どこがわからなかったか」をまとめてから聞きに行くとわかりやすい。 * 質問の内容も伝えて、聞きに行ってもいいか、相手の都合を確かめてから聞きに行こう。
観察する体験する	<ul style="list-style-type: none"> * 観察したり、実際にやってみたりすることで、わかることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> * 自分の目で見たり確かめたりしたことをまとめるので、時間がかかることもある。余裕を持ってしよう。

これ、大事！
複数の情報を調べることで、その情報が正しいものか、確認してみよう。

ひとつのホームページの内容を丸写しするのではなく、それ以外のホームページや図書館の本を調べるなど、複数の情報から考えてみよう。

3.調べたことを記録しよう！

<記録しておくこと>・・・カードに書いたり、ノートやファイルも利用してみよう。

- (1) 疑問のきっかけ。⇒ なぜそのテーマを調べようと思ったのか。
- (2) 調べる内容。⇒ 疑問を解決するために何を調べていくのか。
- (3) 何で調べたか。⇒ 本、新聞、ホームページ（インターネット）、人など
- (4) 調べた内容とその結果わかったこと、考えたこと。

*写真、新聞の切り抜き、リーフレットなどは整理しよう。

- (5) 調べたことで浮かんだ疑問や次の課題を記録する。

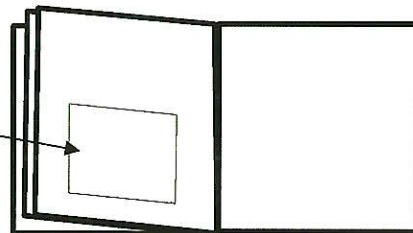
※記録するときの注意点

- ① 参考にした資料（本・新聞・雑誌）は、書名・著者名・出版社・出版年月日を記録する。
- ② インターネットで調べたときは、Web ページ名・Web ページを製作した人・団体名・更新日(閲覧日)・URL（ホームページのアドレス）を記録する。
- ③ 人から話を聞いたときは、聞き取った日時、人の名前、その人の立場（例：〇〇図書館職員など）を記録する。
- ④ 人から聞いた（取材）内容は、書いて発表してもいいか確かめておく。
- ⑤ 観察したり体験したりした場合は、その日時と場所を記録する。
- ⑥ 人から聞いたことや調べた内容は、自分の意見と区別して記録する。

おくづけ
<本の奥付>

(本の後ろ(巻末))

書名・著者名・出版社・出版年
が書いてあります。



4.調べた記録をまとめて作品にしよう！

- (1) 調べたことを整理する。

- (2) 発表する内容にまとめていく。

*テーマを選んだ理由 ⇒ 調べようと思ったきっかけを書く。

*研究計画・方法 ⇒ どんな方法で調べたかを書く。

- ・ 文献検索方法（本・ホームページなど）、取材、アンケート、観察・体験などの計画、方法などを書く。

*内容 ⇒ わかったことの中から、自分の伝えたいことをまとめていく。

- ・ テーマを解決するために、資料を読む、取材、実験、観察などをしてわかったことを書く。
- ・ いろいろ調べたことから、どんなことを取り上げて書くのか、その順番を考える。…構成を考える。(目次のようなもの。)

- ・ 何が問題なのかははっきりさせ、調べてわかったことを具体的に説明する。
- ・ 時間の流れに沿って並べる。
- ・ 多くの資料を比較検討する。
- ・ グラフや図表化して目で見てわかりやすいように書く。
- ・ 文字は丁寧に正確に書く。

*まとめ ⇒ テーマを解決するために調べたことについて、自分の考えや思ったこと、工夫したこと、苦労したことなどを書く。

5.重要ポイント 出典を書こう

他の人が書いたり、調べたりしたことを書くときは、「 」でくくって、自分の意見や考えとは別であることをはっきりさせる。

特に、本などの資料からの引用文の時は、書名・著者名・出版社・出版年・引用文の掲載ページを記入する。書き写した本だけではなく、参考にした本も

★本を参考にした場合 ⇒ 書名・著者名・出版社・出版年を書く。

例、『〇〇〇〇』枚方太郎著 △△社 2021年

★ホームページ（インターネット）を参考にした場合

⇒ Web ページ名・Web ページを製作した人・団体名・更新日(閲覧日)・URL を書く。

例、『枚方市ホームページ』枚方市

更新年月日 2022年7月1日

<http://www.city.hirakata.osaka.jp>

★新聞を参考にした場合 ⇒ 新聞紙名・出版年月日を書く。

例、『〇〇新聞』 2022年3月1日 夕刊

